

# 2025年3月期（第15期） 中間期決算説明資料

2024.10.25

テクノホライゾン株式会社  
代表取締役社長 野村拡伸



テクノホライゾン株式会社

## 目次

---

1. 2025年3月期（第15期）中間期決算概要
2. 2025年3月期（第15期）通期業績予想
3. トピックス

# 1. 2025年3月期（第15期） 中間期決算概要

## (1) 2025年3月期 損益サマリー

単位：百万円

前年同期実績比  
**増収****増収要因：**

- ・「映像&IT事業」増収

**減益要因：**

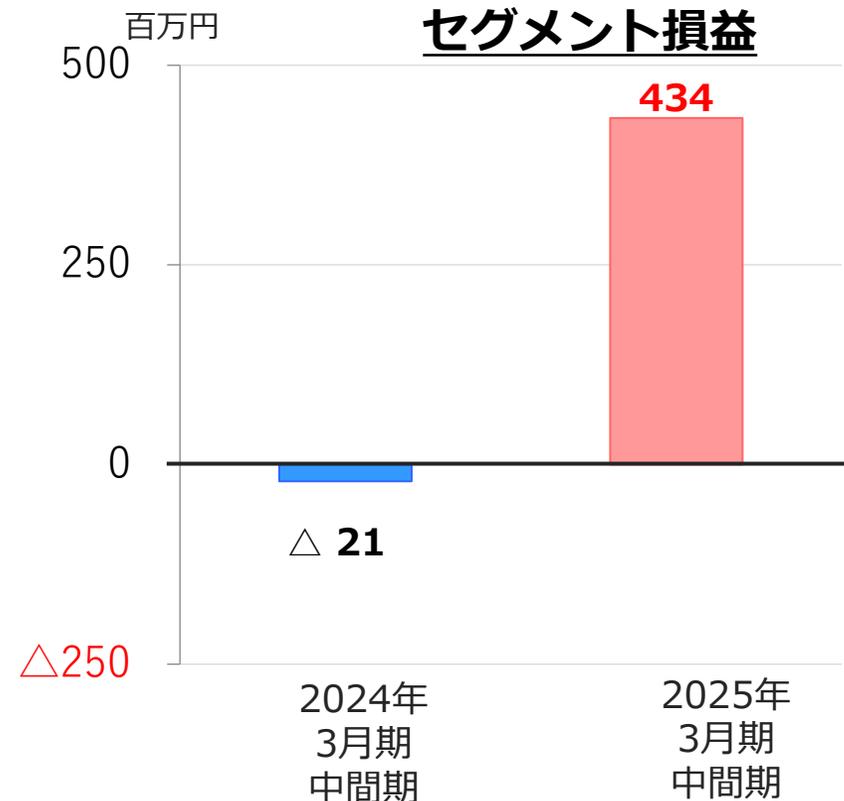
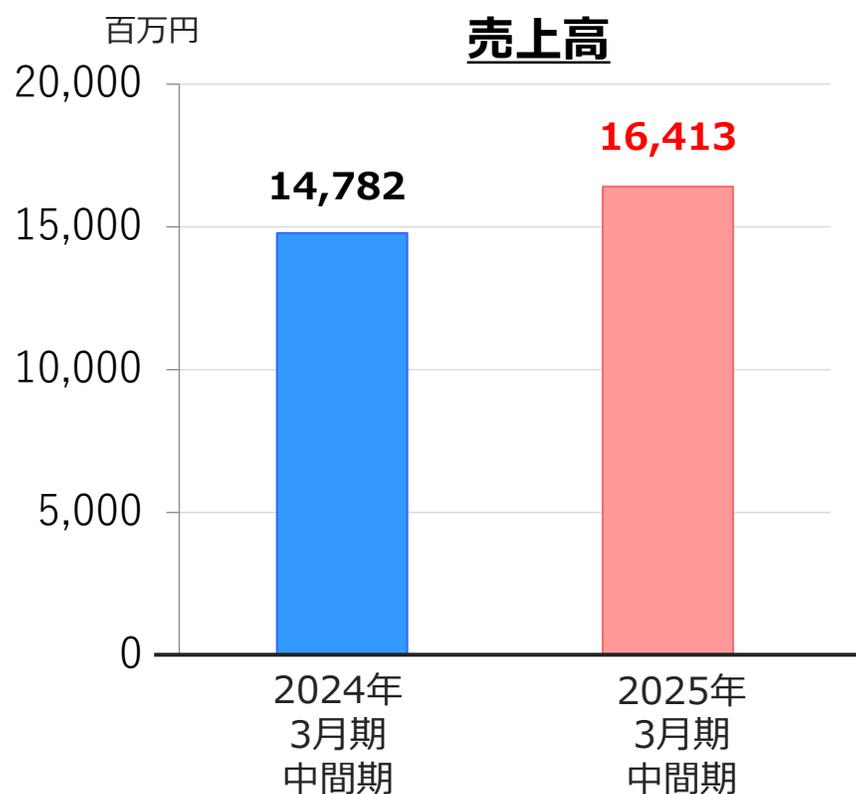
- ・販管費の増加

**その他：**

- ・営業外費用185百万円(為替差損)

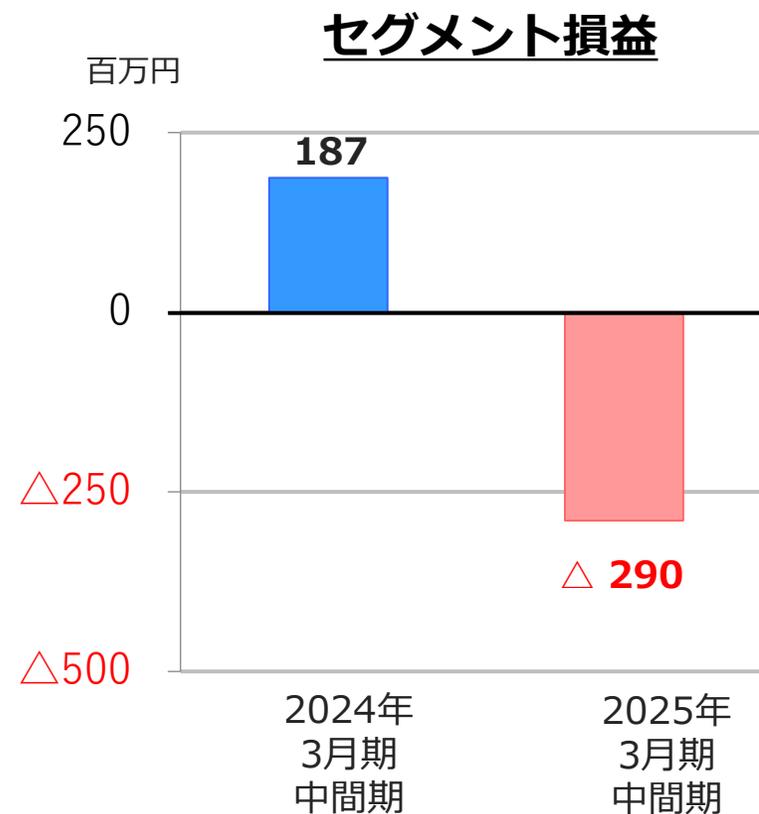
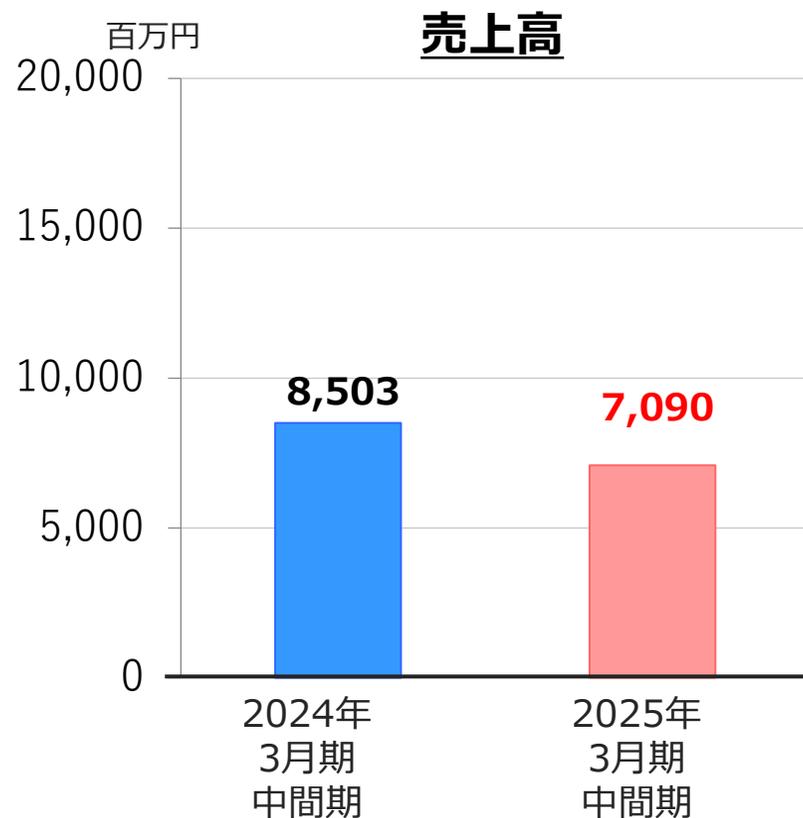
	2024年 3月期 中間期	2025年 3月期 中間期	増減	増減率
売上高	23,286	23,503	+217	0.9%
映像&IT	14,782	16,413	+1,631	11.0%
ロボティクス	8,503	7,090	△1,413	-16.6%
営業利益	161	148	△13	-8.0%
経常利益	680	△7	△688	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	293	△276	△570	—

## (2) 映像 & IT 事業セグメントの損益



- ・シンガポールの子会社 2 社（アジア地域でのサイバーセキュリティ製品の卸売及びオフィス機器やAVシステムの販売）が堅調に推移
- ・教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：
  - ①欧米 堅調に推移
  - ②国内 GIGAスクール構想で導入した機器の入替が進み、前年同四半期対比で売上高増加  
GIGAスクール構想第 2 期を念頭に活動を強化

### (3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ FA事業関連機器：①国内 はんだ付けロボットは堅調に推移  
前期末の受注増加の反動もあり、量産機・検査装置が前年同四半期実績を下回る
- ②中国 工場の設備投資環境悪化の長期化に備え、経費削減による体質強化を図る

## (4) 2025年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2024年 3月期	2025年 3月期 中間期	増減
流動資産	26,360	27,195	+ 834
固定資産	9,731	10,344	+ 612
<b>資産合計</b>	<b>36,092</b>	<b>37,539</b>	<b>+ 1,447</b>
流動負債	21,127	21,513	+ 385
固定負債	5,151	5,366	+ 215
<b>負債合計</b>	<b>26,279</b>	<b>26,880</b>	<b>+ 600</b>
株主資本	8,091	7,679	△ 411
その他の包括利益合計額	1,708	2,964	+ 1,255
<b>純資産合計</b>	<b>9,813</b>	<b>10,659</b>	<b>+ 846</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>36,092</b>	<b>37,539</b>	<b>+ 1,447</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>27.2%</b>	<b>28.4%</b>	<b>+ 1.2pt</b>

**流動資産**

・現金及び預金	:	+ 708百万円
・受取手形及び売掛金	:	△ 324百万円
・電子記録債権	:	△ 497百万円
・商品及び製品	:	+ 876百万円
・仕掛品	:	+ 292百万円

**固定資産**

・有形固定資産	:	+ 63百万円
・無形固定資産	:	+ 515百万円
・投資その他の資産	:	+ 33百万円

**流動負債**

・短期借入金	:	+ 626百万円
--------	---	----------

**固定負債**

・長期借入金	:	+ 197百万円
--------	---	----------

**純資産**

・利益剰余金	:	△ 411百万円
・為替換算調整勘定	:	+ 1,262百万円

## 2. 2025年3月期（第15期）通期業績予想

## (1) 2025年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

	2024年 3月期 (実績)	2025年 3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	48,623	50,000	1,377	2.8%
営業利益	1,036	1,050	14	1.3%
経常利益	1,709	900	△ 809	-47.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,001	600	△ 401	-40.1%

**着実な成長**増収要因

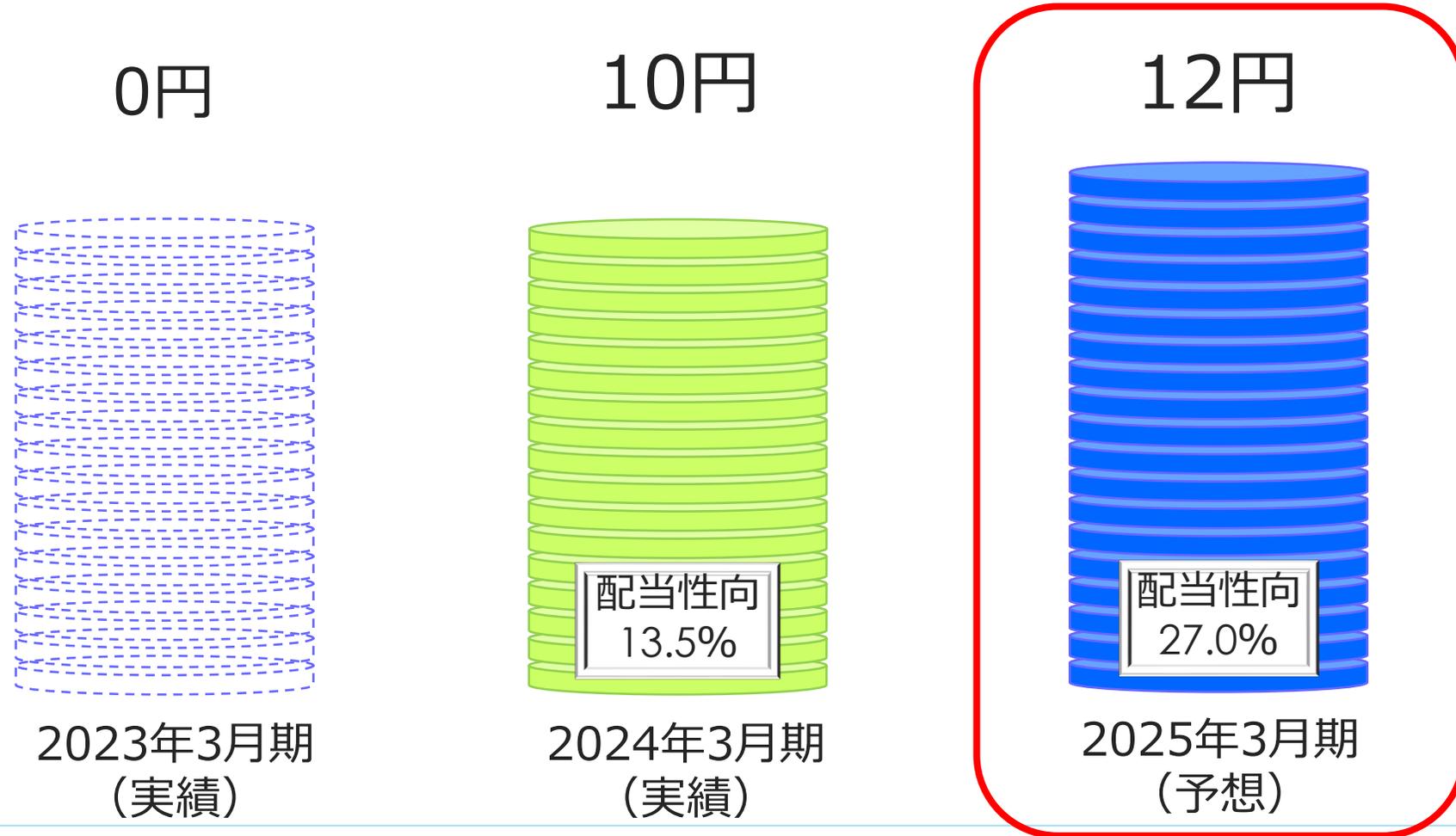
- ・買収先企業とのシナジー追求
- ・既存事業の底上げ

減益要因

- ・営業外収益(為替差益)の減少

## (2) 2025年3月期 配当予想

年間配当予想：年間**1株あたり12円**



## 3. トピックス

# (1) テクノホライゾングループの動き



## BCS Technology International Pty Ltd との業務提携

- 2024年9月、オーストラリアを本社とするIT企業であるBCS Technology International Pty Ltdと、AI技術を活かしたグローバルITソリューションをさらに拡大していくための業務提携を開始しました。

### 【本提携の目的並びに内容】

BCS社の強みを当社が持つハードウェア開発技術の強みに融合させ、新たな商品やサービスを創出しグローバル事業の領域を拡大するとともに、BCS社の卓越したソフトウェア開発人材により、IT人材不足の課題を抱える日本企業との戦略的開発パートナーシップの構築に取り組みます。当社は自社の競争力を強化するとともに、新たなビジネス機会を創出し、グループ全体のグローバルな成長を促進してまいります。

### 【本提携の相手先の概要】

(1) 名称	BCS Technology International Pty Ltd
(2) 所在地	PO Box 6455, North Sydney, NSW 2059, Australia
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Howard Hill-Esbrand
(4) 事業内容	IT サービス事業・IT人材事業



## 日本最大級のオープンイノベーション拠点 「STATION Ai」へ入居

- 2024年10月、愛知県が運営する国内最大のオープンイノベーション施設である「STATION Ai」にパートナー企業として入居しました。国内最大のオープンイノベーション施設「STATION Ai」への入居を通じ、スタートアップとの連携強化を図り、革新的なビジネスモデルや技術の創出を目指します。

### 【STATION Aiとは】

愛知県が運営する日本最大級のオープンイノベーション拠点として、2024年10月に開業し、スタートアップとパートナー企業が協働することで、イノベーションを加速させることを目指しています。



## (2) 国内子会社情報



### 当社連結子会社による支店設立

- アポロ精工の海外子会社（当社連結子会社）であるApollo Seiko Europe B.V.がポーランド共和国に支店を設立しました。

#### 【支店設立の目的】

Apollo Seiko Europe B.V.は、オランダを拠点としてアポロ精工の製品である自動はんだ装置及び関連機器の販売、レーザー関連製品の販売を行う企業です。今回、ポーランド支店設立に伴い、欧州全体の拡大を目指します。

#### 【設立される支店の概要】

名 称	Apollo Seiko Europe Poland Office
所 在 地	Grabiszewska Street no. 251, 53-234 Wrocław Poland
設 立 年 月 日	2024年7月



### レーザー式はんだ付け装置 STAR GATE はんだ付け装置部門「メキシコ テクノロジー賞」受賞

- 2024年9月、アポロ精工のレーザー式はんだ付け装置 STAR GATEが、MexicoのGuadalajaraで開催された SMTA Guadalajara展示会において、はんだ付け装置部門の「メキシコ テクノロジー賞」を受賞しました。



#### STAR GATE とは

従来のレーザーはんだ付けプロセスはレーザー出力を基に設定されており、レーザーを照射した部品の個体差によってはんだ付け温度にバラツキが発生していました。STAR GATE は同軸温調機能により、レーザーはんだ付けプロセスを「実際の加工温度」で制御することで、はんだ付け温度のバラツキを解決した次世代のレーザー自動はんだ付けロボットです。

## (3) 国内子会社情報 / 海外子会社情報



### 「ESD可視化カメラ BVC2951U」 進歩・技術賞を受賞

- ▶ 2024年9月、ブルービジョンが般財団法人静電気学会が主催する「第48回 静電気学会全国大会」において、同社商品「ESD可視化カメラ BVC2951U」が進歩・技術賞を受賞しました。

【受賞】  
静電気学会  
「進歩・技術賞」

【受賞商品】  
ESD可視化カメラ  
「BVC2951U」



### ESCO Pte. Ltd. パートナー各社からの受賞 / Partner認定

- APAC Top Video Achiever 2024(1月～6月)受賞 (Jabra社)
- Gold Level Excellence Award受賞 (Crestron Electronics 社)
- InAVate Award for Best Education Project受賞 (Inavate APAC)
- Major Account Win 2024受賞 (Crestron Electronics 社)
- COLCOM-Collaboration and Communication Technologiesが、Most Strategic Partner賞を受賞 (LG Electronics社)
- COLCOM-Collaboration and Communication Technologiesが、Samsung ディスプレイ製品の付加価値パートナーとして認定 (Samsung Electronics 社)
- BEST Video Growth FY24賞 (QSC社)
- GPA Spirit Award受賞 (GPA)



# (4) グローバル化を加速

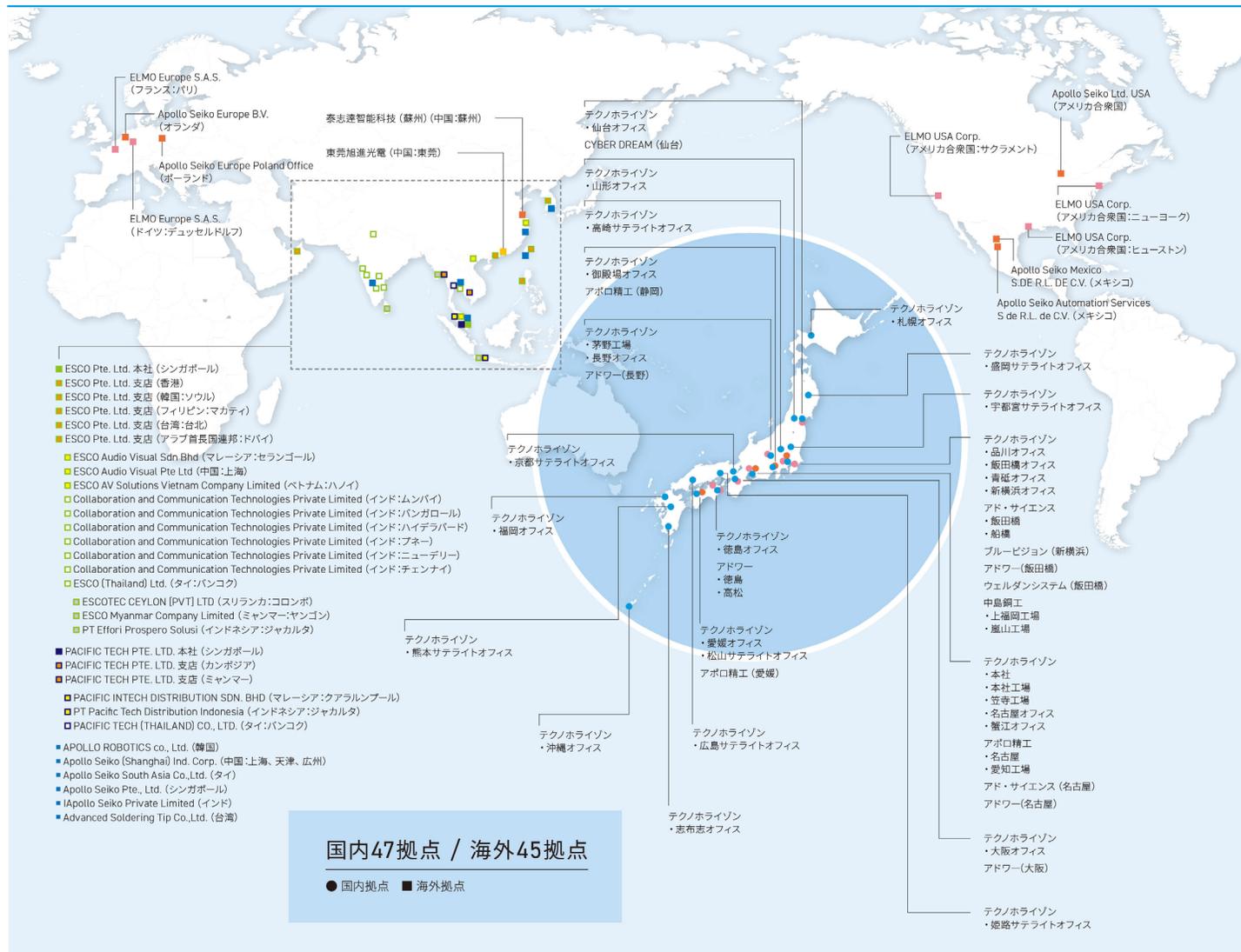
国内47拠点  
海外45拠点

多様性に満ちた人材で  
グローバルなニーズに応える



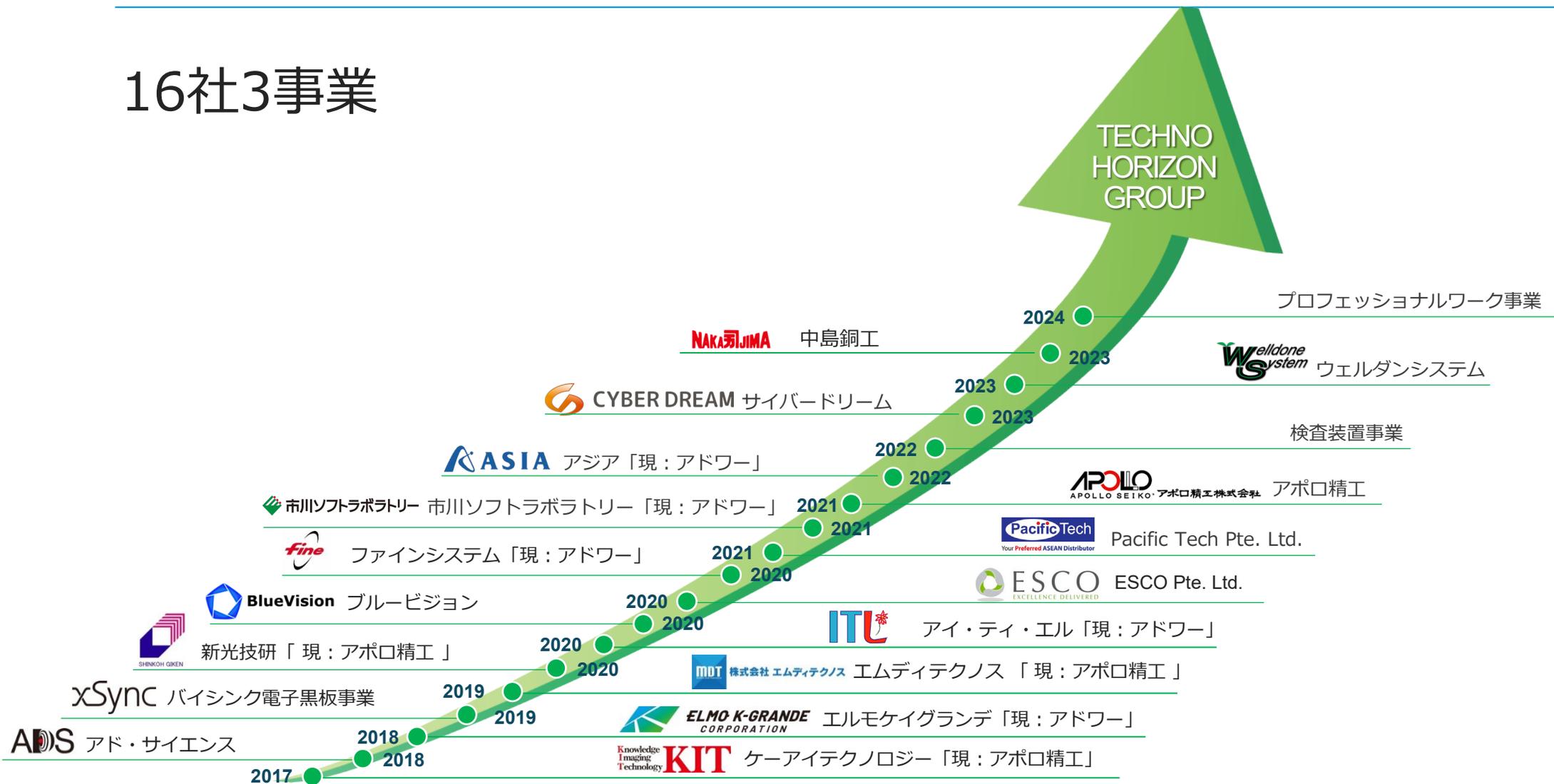
## 課題感

- ★ 人材確保・育成
- ★ コーポレート・ガバナンス



# (5) グローバル化を加速

16社3事業



## (6) 認知度アップ：展示会等への出展

年間を通じて国内外180超の展示会等に出展予定

+

----- プライベート展示会開催 -----



## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## I R担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： [info@th-grp.jp](mailto:info@th-grp.jp)

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風  
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波  
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶  
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い  
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス  
授かった希望  
未来へ羽ばたく風をつかめ

# TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO  
APOLLO SEIKO

## TECHNO HORIZON GROUP

ADS

BlueVision

ESCO  
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO  
APOLLO SEIKO

Adwaa

CYBER DREAM

Welldone  
system

NAKAJIMA